

1 調査日 平成24年 8月29日（水）～30日（木）

2 調査の概要

8月29日（水）

（1）独立行政法人岡山県精神科医療センター（岡山県岡山市）

施設および業務の概要について（医療観察法に基づく指定入院医療機関について）

岡山県精神科医療センターは、岡山県立の精神科病院として設置され、平成19年に独立行政法人化された病院である。

当精神科医療センターは、医療観察法（「心身喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療観察法及び観察などに関する法律」）に基づき、自治体病院で最初にフルスペックで開設した指定入院医療機関であり、法の目的の下、社会復帰を促進するために、多職種チームで対象者を評価し治療計画をたてて実践するなど取り組みを進められている。

本県においても、現在、医療観察病棟の設置に向けて手続きが進められていることから、岡山県精神科医療センターの施設や業務、事業運営について調査を行った。



8月30日（木）

（2）福岡県議会（福岡県福岡市）

福岡県の在宅医療の施策について

福岡県では、「誰もが望む場所で療養できる地域医療体制の整備」を目指し、訪問看護を推進するための支援や地域医療体制の整備が進められ、平成22年度には、福岡県内の保健福祉（環境）事務所に「地域在宅医療支援センター」が開設され、“在宅緩和ケア”等について相談できる窓口が設けられている。

当センターでは、患者・家族から在宅療養上の悩みや不安等の相談を受け、訪問看護ステーションや医療機関の情報提供を行うほか、医療・福祉関係者に対する研修会の開催等を行うなど在宅緩和ケアの普及啓発や医療機関



等、関係機関相互の連携促進が図られている。

本県においても、在宅医療の推進に向けて取り組みが進められているところであり、本県施策の参考とするため福岡県で推進されている地域在宅医療の施策や取り組みについて調査を行った。

(3) 福岡県Ruby・コンテンツ産業振興センター（福岡県福岡市）

施設および業務の概要について（コンテンツ産業振興の取り組みについて）

福岡県では、国産プログラミング言語『Ruby』によるソフトウェア産業の育成と、映像・CG・WEBなどのコンテンツ産業の振興に取り組むため、平成22年12月に福岡市博多区にある福岡東総合庁舎内に「福岡県Ruby(ルビー)・コンテンツ産業振興センター」が設置され、コンテンツ産業振興の中核施設として、産学官の連携を図り、研究開発をはじめ人材育成、ベンチャー支援、ビジネス機会の拡大、企業誘致、交流連携など総合的な支援が行われている。

本県においても、今後も成長が期待でき、地域経済の活性化や雇用の拡大にもつなげられるアニメ、ゲーム、映像などのデジタルコンテンツ関連産業の推進に向けて、調査・研究が進められているところあり、本県施策の参考とするため福岡県Ruby・コンテンツ産業振興センターセンターの施設やコンテンツ産業振興の取り組み等について調査を行った。

